保存版

蓮田市 洪水ハザードマップ

蓮田市マスコットキャラクター「はすぴい」

日頃の備えと、命を守るために

わが家の防災メモ

わが家の避難所 ＿＿＿＿ わが家の集合場所 ＿＿＿＿

家族・支援者等の連絡先

名　前	血液型	電話番号	職場・学校等の連絡先

わが家の「災害用伝言ダイヤル・伝言板 登録番号」

◆NTT 災害用伝言ダイヤル（171）

電話を利用して情報を確認する「声の伝言板」です。 171 にダイヤル ▶ 録音は 1 再生は 2 ▶ 被災地の方の固定電話及び携帯電話・IP電話の番号を入力してください。※固定電話は市外局番からの入力です。 ▶ ガイダンスに従い録音（再生）

◆NTT 災害用伝言板（web171）

インターネットを利用して情報を確認する「文字の伝言板」です。 https://www.web171.jp/ へアクセス、または「web171」で検索 ▶ 伝言を登録する被災地の方などの電話番号を入力 ▶ 説明に従い登録／確認

◆携帯電話・スマートフォンの災害用伝言板

携帯電話各社（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク）の携帯電話から伝言を入力できます。各携帯端末のトップ画面から「災害用伝言板」にアクセスし、画面の指示に従って操作をしてください。

蓮田市 総合政策部 危機管理課　住所：〒349-0193 埼玉県蓮田市大字黒浜2799-1　電話：048-768-3111（代表）

発行：令和7年3月

避難情報について

水害から身を守るために、気象情報や避難情報を入手しましょう。気象情報で大雨や台風の予報やゲリラ豪雨などの情報を入手したら、信頼できる情報源から最新の情報を継続して入手し、避難へ備えましょう。

洪水予報・避難情報の伝達経路

災害の情報はこのような経路でみなさんに伝達されます。テレビ、ラジオ、インターネット等で最新の情報を入手し、避難活動に役立てましょう。

← 避難に関する情報等の流れ
← 洪水予警報（気象情報）の流れ

報道機関（テレビ・ラジオ等） ← 蓮田市 災害対策本部 → 防災行政無線・サイレン・広報車／安心・安全メール・ホームページ・SNS
埼玉県 → 埼玉県ホームページ
国土交通省 関東地方整備局 → 国土交通省ホームページ（川の防災情報）
気象庁 → 気象庁ホームページ

市民のみなさん（テレビ、ラジオ、スマートフォンなどを使用して、最新の情報を入手するようにしましょう）

水害時に入手する情報

避難情報等（警戒レベル）

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動		避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	●すでに災害が発生しています。いのちを守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	●段水など、避難が困難になっているおそれがあります。●速やかに避難を！!! ●浸水想定区域内の、少しでも安全な場所へ避難してください。	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	●高齢者等は速やかに避難を。●浸水想定区域や、河川沿いにいる方も、速やかに避難してください。	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	●ハザードマップ等で避難場所や経路などを再確認しましょう。	大雨・洪水注意報
	今後の状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	●災害への心構えを高めるなど。	早期注意情報

令和7年1月1日現在、数値は変更される場合があります。

避難情報とは

避難の準備や開始の目安となる情報で、蓮田市が発令します。防災行政無線に注意を払い、市ホームページなどで確認しましょう。

蓮田市は様々な情報をもとに、避難情報発令の判断を行います が、気象情報と同レベルの避難情報を、同時に発令するものではありません。

自らの命は自らが守る意識を持って、気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとってください。

	河川水位	利根川（東機）	小山川（内ヶ島）	荒川（熊谷）
はん濫危険水位	9.20m	38.70m	5.50m	
避難判断水位	7.60m	38.00m	5.00m	
はん濫注意水位	5.00m	36.50m	3.50m	
水防団待機水位	2.70m	35.60m	3.00m	

情報の入手先

市が発信する情報を入手　避難指示や避難所開設など、蓮田市の情報はこちらで入手しましょう。

◆蓮田市公式ホームページ
避難情報や避難所の開設状況など、市内を中心とする情報

◆はすぴい公式X（旧ツイッター）
はすぴいが蓮田市の情報を発信
名前：はすぴい【公式】、
ユーザー名（ID）：@hasudahasupy

◆緊急速報「エリアメール」事前登録は不要。市内にいる方のスマートフォン等に一斉配信

◆蓮田市公式LINE
アカウント名：蓮田市
LINEID：@hasudacity

◆蓮田市公式Instagram
アカウント名：埼玉県蓮田市【公式】
ユーザーネーム：hasuda_official

◆蓮田市「安心・安全メール」〈事前登録が必要です〉
蓮田市の防災行政無線で放送した内容（防災・防犯・イベント情報）をメールで受信

◆防災行政無線
市のホームページや蓮田市「安心安全メール」、防災放送確認ダイヤル（24時間以内。電話048-765-8671）で確認可

洪水時の避難行動

予想可能な台風などは事前対策が行えますが、ゲリラ豪雨や線状降水帯の発生など、突発的な気象の変化では自身の判断がとても重要です。避難情報の有無にかかわらず、その場に留まることが危険と判断したら、あらかじめ決めておいた避難先に向けて、直ちに避難を始めて下さい。

基本は立ち退き避難、緊急時の屋内安全確保

風水害での避難行動では、災害が発生する前に危険性がある場所から避難する「立ち退き避難」が基本です。しかし、「立ち退き避難」を行う余裕がない場合や、悪天候などにより外出することが危険な場合は、「屋内安全確保」でいのちと身体を守りましょう。

避難する際の注意点

正確な情報収集
雨の降り方や、周辺道路の冠水状況を確認するほか、テレビやラジオなどを利用し、最新情報を収集しましょう。スマートフォンなどの情報収集では、偽情報に注意しましょう。

安全な避難経路での避難を
現在いる場所から安全な避難場所まで、避難経路を複数決めておき、その中から安全に通行できる経路で避難しましょう。

避難の前に確認
自宅から避難する時は、火災や漏電を防ぐため、電気、ガス、火の元を点検しましょう。誰が、どこに、何で避難するか、家族で確認しましょう。

動きやすい服装で、2人以上で避難
避難するときは動きやすい服装で1人での避難は避け、できる限り2人以上での避難を行いましょう。

水面下の危険に注意
避難は、できる限り浸水していない道路を通りましょう。浸水場所は、異物や段差、穴が見えないので注意しましょう。

逃げ遅れたら高い建物に避難
万一、避難場所まで行くことができない場合は、近くの丈夫な建物のより高い階数に避難して救助を待ちましょう。建物の2階部分でも場所によっては危険な場合があります。

車での避難を避け、車両放置を防ぐ
車での避難は緊急車両の通行を妨げますので、特別の場合を除きやめましょう。また、車を路上放置すると避難行動や水防活動の妨げになりますので、やめましょう。

避難の呼びかけに注意
危険が生じる恐れがあるときは、防災行政無線などにより、避難の呼びかけを行います。その場合には、速やかに避難してください。

避難行動手順の確認と実行

平時に確認　「自分の命は自分で守る」ことを意識し、自宅や地域の危険性を確認し、とるべき行動を実行しましょう。

避難行動手順の確認

あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

▼はい

家がある場所に色が塗られていますか？ → いいえ → 色がなくても、周りより低い土地は大雨などの際に水が集まります。市が発令する避難情報等を参考に、必要に応じて避難してください。

▼はい

洪水や氾濫が発生すると、災害の危険があるので、安全な場所※に避難が必要です。 → 例外 →
❶洪水により家屋が倒壊または崩落してしまう恐れの高い区域の外側である
❷浸水する深さよりも高いところにいる
❸浸水しても水がひくまで耐えられ、水・食料などの備えが十分にある
❶～❸の場合は、浸水の危険があっても自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。

▼はい

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？ → いいえ → 安全な場所に住み、避難を受け入れる親戚や知人はいますか。

▼はい

安全な場所に住み、避難を受け入れる親戚や知人はいますか。

- はい → **警戒レベル3 高齢者等避難** が出たら、**安全な場所**に避難しましょう。
- いいえ → **警戒レベル3 高齢者等避難** が出たら、**市が開設した避難所**に避難しましょう。
- はい → **警戒レベル4 避難指示** が出たら、**安全な場所**に避難しましょう。
- いいえ → **警戒レベル4 避難指示** が出たら、**市が開設した避難所**に避難しましょう。

※ 感染症対策として、避難所が過密状態になることを防ぐ観点からも、安全な親戚宅や知人宅への避難も検討しましょう。

マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、一人ひとりの防災行動計画であり、台風等の接近による大雨の際、自分自身がとる標準的な防災行動を、時系列的に整理したものです。洪水ハザードマップや国土交通省が公表する浸水ナビを用いて、身の周りのさまざまな洪水リスクを知り、災害が発生しそうな時どのような避難行動が必要か、どのようなタイミングで避難することがよいのか、考えてみましょう。

【作成日】令和 7 年 3 月 1 日

蓮田家の マイ・タイムライン

家族構成									
	蓮田太郎	55	子	蓮田はるか	24	父	蓮田虎之助	82	周囲の状況
妻	蓮田花子	55	子	蓮田風太	20	猫	蓮田ココア	3	

【例】周囲の道路は冠水しやすい
自宅は水深、3.0m から5.0m未満の浸水想定区域にある。市内の浸水想定区域外に虎之助の妹が住んでいる。

経過時間	3日前（台風発生）	2日前	1日前	雨・風が時間とともに強くなる			0時間前
行政からの連絡	台風予報 警戒レベル 1 相当	大雨注意報 洪水注意報 警戒レベル 2 相当	大雨警報 洪水警報	警戒レベル 3 発令 高齢者等避難	警戒レベル 4 発令 避難指示		警戒レベル 5 発令 緊急安全確保 大雨特別警報
マイ・タイムライン	事前にできることを記入しよう【例】持出品の準備 ●持ち出し品、常備薬を準備する。●スマートフォンなどを充電する。●ハザードマップで避難経路を確認する。●自宅の戸締りを確認する。●家族の避難場所、連絡方法を確認する。		避難するタイミングを記入しよう ▶避難開始 ●虎之助は、近所に声をかけ、妹宅に避難を開始する。●虎之助は、避難開始を家族に連絡する。●動きやすい、服装・靴で避難する。【避難の目安】子供や高齢者等、避難に時間がかかる家族がいる場合は警戒レベル3から避難開始 ●避難所までの距離があり、移動に時間がかかる場合も警戒レベル3から避難を開始する	避難先を記入しておこう ●太郎の避難先「　」 ●花子の避難先「　」 ●はるかの避難先「　」 ●風太の避難先「　」 ●ココアの避難先「　」		〈警戒レベル4までに必ず避難！〉 逃げ遅れた場合の命を守るための最善の行動を記入しておこう【逃げ後れた場合】●持ち出し品を持って、自宅の2階や建物の高いところに避難する ●自宅2階に避難することを妹に連絡する	
ポイント（持ち出し品の例）	□食料・飲料水 □携帯電話 □充電器 □携帯ラジオ □現金・通帳・印鑑 □マスク、消毒液 □体温計 □薬、お薬手帳 □スリッパ □タオル □ビニール袋 □毛布 □着替え □ペット食糧		●浸水する深さ（ 2.1 ）m ●河川との距離（ 800 ）m ●最寄りの避難所（蓮田北小学校）まで距離（ 1500 ）mと時間（ 45 ）分 ●想定の避難先 ①（市内の妹宅）まで（ 30 ）分 ②（蓮田北小学校）まで（ 45 ）分 ●住んでいる場所が土砂災害警戒区域等に（入っている・いない） ●避難経路は土砂災害警戒区域等に（入っている・いない）			【我が家の避難スイッチ】警戒レベル【 3 】で（市内の妹宅へ）避難する	

マイ・タイムラインの作成方法

マイ・タイムラインシートには、自宅や避難先の場所、避難を始めるタイミングなどを記入します。すべて書き込むことで、個人や地域の実情に沿った、オリジナルの避難行動ガイドが完成します。

右記の二次元コードで、詳細な説明や記入例、マイ・タイムラインシートのデータ（出力して記入）があります。

浸水ナビ

「浸水ナビ」は、浸水想定区域図を電子地図上に表示することのできるウェブサイトです。検索した地点の浸水シミュレーションを確認できます。

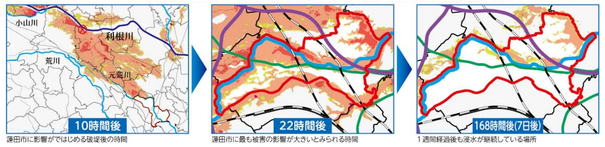
平時より水害による被害のリスクを認識し、氾濫時の危険箇所についての情報を知っておくことで、洪水災害への備えや、いざという時の避難行動に役立ちます。

浸水想定シミュレーション

この浸水想定シミュレーションは、利根川・小山川・荒川・中川流域の想定されている地点で破堤した場合、どのくらいの時間でどこまで浸水するかをシミュレーションしたものです。氾濫水は台風や大雨が過ぎた後に到達することがあるため、河川の上流域を含めた広い範囲の情報を確認しましょう。

利根川・小山川のシミュレーション

利根川河口から 157km の場所が破堤した場合（蓮田市に氾濫水が一番早く到達する想定破堤点です）



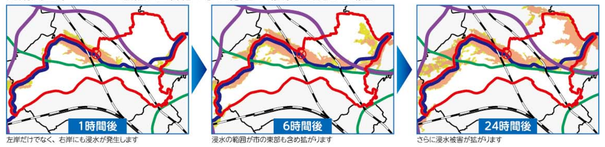
蓮田市に影響がではじめる破堤後の時間　蓮田市に最も被害の影響が大きいとみられる時間　1週間経過後も浸水が継続している場所

利根川合流部から 1.0km の場所が破堤した場合（小山川で破堤した場合の最も影響のある想定破堤点です）

蓮田市に影響がではじめる破堤後の時間　蓮田市に最も被害の影響が大きいとみられる時間　1週間経過後も浸水が継続している場所

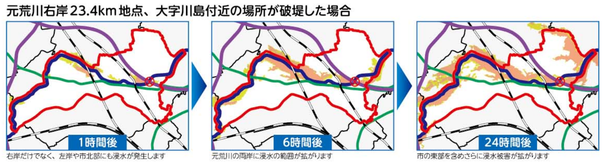
中川流域（元荒川）のシミュレーション

元荒川左岸 27.0km 地点、西新宿４丁目付近の場所が破堤した場合



左岸だけでなく、右岸にも浸水が発生します　浸水の範囲が市の東部も含め拡がります　さらに浸水被害が拡がります

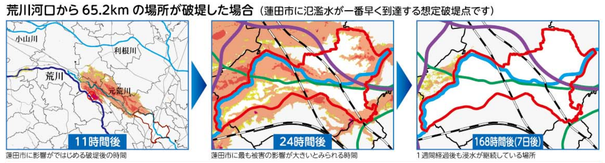
元荒川右岸 23.4km 地点、大字川島付近の場所が破堤した場合



右岸だけでなく、左岸や市北部にも浸水が発生します　元荒川の両岸に浸水の範囲が拡がります　市の東部を含めさらに浸水被害が拡がります

荒川のシミュレーション

荒川河口から 65.2km の場所が破堤した場合（蓮田市に氾濫水が一番早く到達する想定破堤点です）

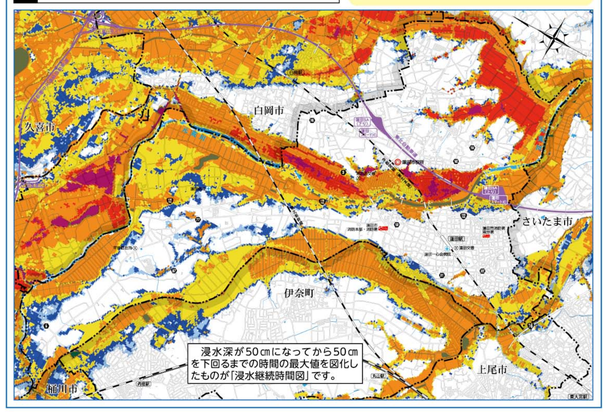


蓮田市に影響がではじめる破堤後の時間　蓮田市に最も被害の影響が大きいとみられる時間　1週間経過後も浸水が継続している場所

浸水継続時間

この浸水継続時間は、利根川・小山川・荒川・中川流域が破堤後の、浸水継続時間をシミュレーションしたものです。浸水が長期間続く場所では、水や食料、着替え、常備薬等を持ち、立ち退き避難を行いましょう。

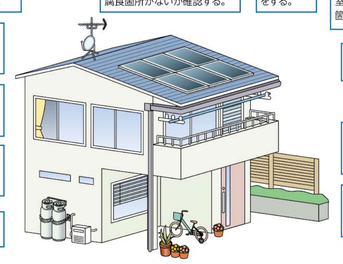
凡例：12時間 / 24時間（1日） / 72時間（3日） / 168時間（1週間） / 336時間（2週間） / 672時間（4週間）



日頃の備え

洪水から命や財産を守るために、普段からの備えが大切です。住んでいる地域と建物の安全性を確認し、可能な耐水対策と水害を想定した生活物資の保管を行っておきましょう。また、屋内避難やライフラインが止まった場合を考え、自力で生活できるよう（推奨７日間程度）、必要な備蓄をしておきましょう。

家屋の防災対策



- 屋根上のアンテナ等がしっかり固定されているか確認する。
- 雨戸がないガラス窓は内側からカーテン等で飛来物防止をする。
- 壁や基礎に腐食やひび割れがないか確認し、あれば可能な補修をする。
- ガスボンベや湯水器がしっかり固定されているか確認する。
- 建物周囲にある物は、風で飛ばないよう固定する。
- 屋根瓦やトタン屋根に破損や腐食箇所がないか確認する。
- 雨樋の掃除をする。
- バルコニーの物干竿や小物を室内に取込み、手すりに腐食箇所がないか確認する。
- シャッターや雨戸は、確実に閉まることを確認する。
- 浸水の危険がある場合には、大切な家財道具は二階や高い安全な場所に移動する。
- 近所の側溝や雨水ますが詰まっていないか確認し、清掃する。

非常用持ち出し品・備蓄品

「非常用持ち出し品」は、避難を行う際や災害発生直後に最低限必要なものです。リュックサックなどにまとめ、すぐに持ち出せる場所に保管しましょう。

「備蓄品」は、自身や家族が、災害発生直後に生きていくために必要なものです。各個人の状況により必要なものは違います。必要な食料や物資を確認し、7日間分（推奨、最低でも3日分）の備蓄を用意しましょう。

非常用持ち出し品

- 飲料水
- □非常食、飲料水
- □マイナンバーカード、免許証、各種手帳など
- □筆記具（ペン・ノート）
- □常備薬、衛生用品、携帯トイレ、ごみ袋
- □着替え、防寒対策用品
- □現金（公衆電話用100円玉、10円玉）
- □携帯電話、予備電源、充電器
- □上履き（スリッパなど）
- □個別の必需品

備蓄品

- 飲料水
- 1日1人3リットル × 家族（　　）人 × 7日 ＝ わが家では（　　）リットルの水を用意

- 食料
  - □レトルト、インスタント食品
  - □缶入りパン、乾パン
  - □ゼリー飲料、栄養補助食品
  - □粉ミルク、離乳食、おやつ
  - □チョコレート、あめなど
- 調理器具
  - □卓上コンロ、固形燃料
  - □簡易食器（紙皿、紙コップ、箸など）
  - □ラップフィルム、ポリ袋
  - □ほ乳びん、消毒液
  - □ナイフ、缶切り
- 生活用品
  - □懐中電灯、予備電池、ランタン
  - □携帯トイレ、簡易トイレ
  - □ティッシュ、トイレットペーパー
  - □ゴミ袋、新聞紙
  - □携帯ラジオ
  - □粘着テープ
  - □ロウソク、ライター
  - □手袋、軍手、ロープ
  - □レジャーシート
  - □ヘルメット、ホイッスル
  - □筆記用具、マーカーペン
  - □上着類、下着類
  - □長靴、雨合羽
  - □介護用品
  - □ペット用品
- 衛生用品
  - □ウエットティッシュ
  - □マスク
  - □消毒液
  - □歯磨き用品
  - □紙おむつ、お尻ふき
  - □生理用品
  - □ウエットタオル、タオル
  - □ドライシャンプー
- 救急用品
  - □常備薬
  - □包帯、ガーゼ、脱脂綿
  - □消毒液、傷薬
  - □体温計
  - □救急ばんそうこう
  - □ピンセット、はさみ
  - □ゴム手袋

◆埼玉県ホームページ「イツモ防災」防災マニュアルブック
備蓄方法や災害時のトイレ対策などが紹介されますので参考にしてください。